



大阪の元気!ものづくり企業



大阪府知的財産部門賞

「大阪ものづくり優良企業賞 2021」受賞企業への 豊田政男審査委員長メッセージ

『大阪ものづくり優良企業賞』は、昨年度の募集中止を経て2年ぶりの募集となりました。13回目を迎える今回の募集では、審査の結果、「優良企業賞」61社、「知的財産部門賞」11社を選定しました。また書面審査で評価の高かった企業を対象に、企業訪問とプレゼンテーション審査を行い、「最優秀企業賞」1社、「技術力部門賞」1社、「審査委員特別賞」2社、「夢・未来・ORIST賞（(地独)大阪産業技術研究所理事長賞）」1社を選定しました。

今回の最終審査には、プラスチック製品製造業、金属製品製造業、生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業など様々な業種の企業が候補企業としてノミネートされましたが、最終的に審査委員全員の合意により、医療機器部品の供給に特化し、顧客の課題解決に貢献する高い技術力とマネジメント力を持つ1社を「最優秀企業賞」としました。

また、「最優秀企業賞」と甲乙つけがたい3社のうち、特に技術力が高い1社を「技術力部門賞」、また、今後の展開が期待される2社を「審査委員特別賞」に選定しました。

これらの企業は、表面処理を軸に事業を展開し、積極的な技術開発や他社ライセンスの活用と豊富な施工実績から培ったノウハウにより高い技術力を持つ企業、顧客の求める付加価値を持つ自動化装置を開発・製造し、その技術力を支える人材育成にも熱心に取り組む企業、グループ企業との連携により金型製作から金属プレス、プラスチック成形、インサート成形、組立までを一貫生産し完成品を提供できる体制を持つ企業です。

技術に未来を感じる企業を賞する「夢・未来・ORIST賞」には、カーボンインクの開発・製造で培ったブレンド技術を応用し、法規制に則った原材料のみで、耐湿性や速乾性等にも対応、鮮明な印字ができる可食性インクジェットを開発し、100年企業でありながら今後更なる新事業の展開が期待される企業1社を選定しました。

今回の審査を通じて、新型コロナウイルスによりものづくり企業を取り巻く環境が大きく変化する中で、これまでの経験で培った技術の応用や創意工夫により新しい展開に挑む大阪ものづくり中小企業の姿勢を見て、「大阪のものづくり」の卓越した技術力と新たな展望を切り開くたくましい姿を感じることができました。

14年目を迎えた当顕彰事業は受賞企業の数も846社となりました。毎年多くの企業が選定されていることは、大阪府内にまだまだ優秀で意欲の高い中小企業が潜在的に存在し活躍していることの証でもあり、本賞の審査の意義も改めて感じられました。

新たに受賞した企業61社には、「大阪のものづくり看板企業（匠企業）」として、ますますの発展を確信するとともに、我が国のものづくりの牽引役として、その持てる技術力・企業力をより一層発揮され、更なる活躍を期待しつつ、受賞されました各企業さまに心より祝意と敬意を表します。

大阪中小企業顕彰事業審査委員会 審査委員長 豊田 政男

(大阪大学名誉教授)